

8/24 福井

が参加し「憲法違反の戦争法案に反対」と訴え、法案の成立阻止に向けて気勢を上げた。

集会は弁護士有志をはじめ、文化人や医師らが呼び掛け、賛同した市民団体が実行委員会をつくり開いた。

呼び掛け人を代表して島田広弁護士が、集団的自衛権の行使による後方支援の危険性を指摘した上で「今こそ国民が立ち上がらない限り、平和憲法は守れない」と主張。続いて宗教、研究者、元教員の代表者がスピーチし、「政府は論点をはぐらかし、一切聞く耳を持つていない。戦争ができる国に大転換させられる、極めて危機的な状況。廃案しかない」と訴えた。

集会では「憲法違反の安保法制改悪」に反対する決議を採択。「ストップ安保法制」と書かれたプラカードを掲



「安保法案阻止」

県民集会に600人

福井、デモ行進も

政府の安全保障関連法案に反対する県民集会が23日、福井市西公園で開かれた（写真）。市民団体などから約600人

が、「憲法の条を踏みにじるな」「廃案まで闘つこう」と拳を突き上げた。決議文は安倍首相や衆参両議長に送る。集会後には、福井放送会館前までデ

モ行進。民主、共産、社民、緑の党の県内代表者による街頭演説も行われた。（山口晶永）